

爲に譴ぐる汝が既に憶いださるれば必ず手に執らるべし汝刺透さるる者罪人イラエルの君主よ汝の終を來らまめて汝の罰せらるる日に至る 主エホバが言ふ覺醒を去り冠冕を除き離せばは是ならざるべし卑き者ハ高せられ高き者ハ卑せられん 我顛覆をなし顛覆を爲し顛覆を爲し權威を持べき者の來る時をては是有り有となし彼に我之を與ふ 人の子よ汝預言して言へし主エホバアソモンの子孫どうの嘲笑につきて斯言ふと即ち汝言へし劍あり劍あり是殺すことのために拔てわり滅ぼすことのために擧がわりて光ひらめくなり 人かんにちに虚淨を預言し汝に假偽の占考を示して汝を殺さるる悪人の頭の上に置んとす彼らの罪うれ終を來らまめて彼らの罰せらるる日いたる これをこの鞢をかへし細めよ汝の造られし處汝の生れし地にて我汝を鞢き 我が怒を汝に擧ぎ吾憤恨の火を汝にむかひて燃し狂暴人滅ぼすことと巧ある者手に汝を付すべし 汝火の新となり汝の血の國の中にあらん汝を重ねて憶えらるることとかかるべし我エホバこれれを言ふばかり

**第二十三章** 主エホバの言われに臨みて言ふ 人の子よ汝鞢かんとするや此血を流すどころれを鞢かんとするや汝これにうれ諸の憎むべき事を示して 言へ主エホバが言ふ己の中に血を流してこの罰せらるる時を來らせ巴の中に偶像を作りてこの身を汚すどころの邑よ 汝ハこの流せる血によりて罪を得るの作れる偶像をもて身を汚し汝の日を返つかせすでに汝の年にいたれり是故に我汝を國々の脚どならしめ萬國の笑とからしむべし 汝近づき者も遠き者も汝が名の汚れたるど混亂の多きをと笑はらん 主エホバイラエルの君等各々の力に云たがひて血を流さんぞ汝の中にる 彼ら汝の中にて父母を腹め汝の中にて他國の人を虐げ汝の中に孤兒と寡婦を憐れずなり 汝わが聖物を賤めわが安息日を汚す

9代第六十三節十二  
一節一九九  
二節一九九  
三節一九九  
四節一九九  
五節一九九  
六節一九九  
七節一九九  
八節一九九  
九節一九九  
十節一九九  
十一節一九九  
十二節一九九  
十三節一九九  
十四節一九九  
十五節一九九  
十六節一九九  
十七節一九九  
十八節一九九  
十九節一九九  
二十節一九九  
二十一節一九九  
二十二節一九九  
二十三節一九九  
二十四節一九九  
二十五節一九九  
二十六節一九九  
二十七節一九九  
二十八節一九九  
二十九節一九九  
三十節一九九  
三十一節一九九  
三十二節一九九

人を譴ぐる者血を流さんぞ汝の中にわたり人汝の中にて山の上を食をなす汝の中にて汝の隣の中の妻に交わり汝の中にて月經のさざりに穢れたる婦女を犯す 又汝の中にて汝の隣の妻を憎むべき事をおこさふものわり邪淫をおこなひての婿を犯すものわり父の女ある己の姉妹を犯すものあり 人汝の中にて賄賂をうけて血を流すこととあすかり汝利え息を取り汝の隣の物を掠め取り又我を忘る主エホバこれれを言ふ 見よ我汝が掠めとる事をなし且血を汝の中に流すによりて我手を拍つ我が汝を攻る日わ其汝の心堅く立ち汝の手強くあることを得んや我エホバこれを言ひてこれをなすかり我汝を異邦の中に散じ國々の中に播きまき汝の汚穢を取のぞくべし 汝ハ己の故によりて異邦人の目をお汚れたる者を見え之にして汝我の言ハバなるを知べし エホバの言は我をのぞみて言ふ 人の子よイラエルの家ハ我お潔淨のごとくなれり彼等ハ凡て鐘の中の銅鐵鉛のごとく彼らハ銀の潔淨のごとく成り 此故主エホバかく言ふ汝らハ皆潔淨となりたれバ視よ我あんにちをエホバの中を集中し 人の銀鐵鉛を爐の中を集め火を吹かけて鑄かごごとく我怒と憤をもて汝らを集め入て鑄すべし 即ち我汝らを集め吾怒の火を汝らにお吹かけん汝らハこの中を鑄九 銀の爐の中を鑄るがごとく汝らハこの中を鑄け我エホバが怒を汝らにお罰ししを知れりたらん エホバの言われお臨みて言ふ 人の子よ是れ本言ふべし汝ハ怒の日に日も照す雨もふらざる地なり 預言者等の徒黨のの中をわりの食を撕くごころの吼る獅子のごとくお彼らハ靈魂を呑み財寶と貴重物を取り寡婦をのりの中を多くすの祭司等ハわが法を犯しわが聖きを亵と聖からざるどの區別をなさず潔きと穢たるどの差別を教へずの目を掩ひてわが安息日を願ひます我ハかれらの中を汚さるるの中にわが公伯等ハ食を撕くごころ

1代第六十三節十二  
一節一九九  
二節一九九  
三節一九九  
四節一九九  
五節一九九  
六節一九九  
七節一九九  
八節一九九  
九節一九九  
十節一九九  
十一節一九九  
十二節一九九  
十三節一九九  
十四節一九九  
十五節一九九  
十六節一九九  
十七節一九九  
十八節一九九  
十九節一九九  
二十節一九九  
二十一節一九九  
二十二節一九九  
二十三節一九九  
二十四節一九九  
二十五節一九九  
二十六節一九九  
二十七節一九九  
二十八節一九九  
二十九節一九九  
三十節一九九  
三十一節一九九  
三十二節一九九











千三百五十一  
 千三百五十二  
 千三百五十三  
 千三百五十四  
 千三百五十五  
 千三百五十六  
 千三百五十七  
 千三百五十八  
 千三百五十九  
 千三百六十  
 千三百六十一  
 千三百六十二  
 千三百六十三  
 千三百六十四  
 千三百六十五  
 千三百六十六  
 千三百六十七  
 千三百六十八  
 千三百六十九  
 千三百七十  
 千三百七十一  
 千三百七十二  
 千三百七十三  
 千三百七十四  
 千三百七十五  
 千三百七十六  
 千三百七十七  
 千三百七十八  
 千三百七十九  
 千三百八十  
 千三百八十一  
 千三百八十二  
 千三百八十三  
 千三百八十四  
 千三百八十五  
 千三百八十六  
 千三百八十七  
 千三百八十八  
 千三百八十九  
 千三百九十  
 千三百九十一  
 千三百九十二  
 千三百九十三  
 千三百九十四  
 千三百九十五  
 千三百九十六  
 千三百九十七  
 千三百九十八  
 千三百九十九  
 千四百  
 千四百一  
 千四百二  
 千四百三  
 千四百四  
 千四百五  
 千四百六  
 千四百七  
 千四百八  
 千四百九  
 千五百  
 千五百一  
 千五百二  
 千五百三  
 千五百四  
 千五百五  
 千五百六  
 千五百七  
 千五百八  
 千五百九  
 千六百  
 千六百一  
 千六百二  
 千六百三  
 千六百四  
 千六百五  
 千六百六  
 千六百七  
 千六百八  
 千六百九  
 千七百  
 千七百一  
 千七百二  
 千七百三  
 千七百四  
 千七百五  
 千七百六  
 千七百七  
 千七百八  
 千七百九  
 千八百  
 千八百一  
 千八百二  
 千八百三  
 千八百四  
 千八百五  
 千八百六  
 千八百七  
 千八百八  
 千八百九  
 千九百  
 千九百一  
 千九百二  
 千九百三  
 千九百四  
 千九百五  
 千九百六  
 千九百七  
 千九百八  
 千九百九  
 千  
 千一  
 千二  
 千三  
 千四  
 千五  
 千六  
 千七  
 千八  
 千九  
 千十  
 千十一  
 千十二  
 千十三  
 千十四  
 千十五  
 千十六  
 千十七  
 千十八  
 千十九  
 千二十  
 千二十一  
 千二十二  
 千二十三  
 千二十四  
 千二十五  
 千二十六  
 千二十七  
 千二十八  
 千二十九  
 千三十  
 千三十一  
 千三十二  
 千三十三  
 千三十四  
 千三十五  
 千三十六  
 千三十七  
 千三十八  
 千三十九  
 千四十  
 千四十一  
 千四十二  
 千四十三  
 千四十四  
 千四十五  
 千四十六  
 千四十七  
 千四十八  
 千四十九  
 千五十  
 千五十一  
 千五十二  
 千五十三  
 千五十四  
 千五十五  
 千五十六  
 千五十七  
 千五十八  
 千五十九  
 千六十  
 千六十一  
 千六十二  
 千六十三  
 千六十四  
 千六十五  
 千六十六  
 千六十七  
 千六十八  
 千六十九  
 千七十  
 千七十一  
 千七十二  
 千七十三  
 千七十四  
 千七十五  
 千七十六  
 千七十七  
 千七十八  
 千七十九  
 千八十  
 千八十一  
 千八十二  
 千八十三  
 千八十四  
 千八十五  
 千八十六  
 千八十七  
 千八十八  
 千八十九  
 千九十  
 千九十一  
 千九十二  
 千九十三  
 千九十四  
 千九十五  
 千九十六  
 千九十七  
 千九十八  
 千九十九  
 千

これを言ひ是に至る我れを爲べし止惜せず悔ざるあり汝れ道なまたがひて彼ら汝  
 を罰かん主エホバがこれを言ふエホバの言われ臨みて言ふ人ば子よ我頓死をもて汝の目れ喜ぶ者を  
 取去ん汝哀かす泣す涙をなすべからず聲をたてずして哀け死人のために哀栗をなすかかれ感物を戴  
 き足に鞋を穿べし鬚を掩ふかかれ人れぬける食物を食ふべからず朝我人々お語りしが夕あわむ妻  
 死り明朝におよびて我命ぜられしごとくなせり汝に人々我に言けるは此汝があすどの事ハ何の意  
 なるや我らに告ぐるや我かまらに言けるはエホバの言我わのぞみて言ふイスラエルの家かいふべし  
 主エホバかく言ふ我れ汝らの勢力の樂汝らの目の喜愛汝らの心の望なるわが聖所を汚さん汝らか還す  
 どのの子女等ハ劍に仆れん汝らもわが爲るごとくかじ鬚を覆えず人のおくれる食物を食えず首  
 に冠物を戴き足に履を穿き哀かす泣すの罪の中に瘦衰して互に呻かん欺エセキエル汝らに兆せなら  
 ぬ彼がなしたるごとく汝ら爲ん是事の至らん時お汝ら我が主エホバあるを知べし人の子よわが彼ら  
 つかれらの樂むとどの樂うの目の喜愛うの心の望うの子女を取去る日この日本迷亡者汝の詭に來り  
 汝の耳に告ることあらんこの日本迷亡者おむかひて口を啓き語りて再び驅せざらん斯汝かれらに兆  
 とあるべし彼らハ遂に我のエホバなるを知らん  
 第二十章  
 エホバの言我に臨みて言ふ人の子よ汝の面をアゼモンの人々に向けてこれに向ひて預言  
 しアゼモンの人々に言べし汝ら主エホバの言を聴け主エホバかく言ひたまふ汝わが聖處の清さる  
 事かつきイスラエルの地の荒さるる事かつきエホバの家の擡へ移さるることにかきて嗚呼心地善しと言  
 り是故に禱よ我汝を東方の人々に付して所有を爲えめん彼等汝の中に善圖を敷け汝の中今の住宅

を建てて汝は作物を食ひ汝の乳を飲んラバをば我駝を祭ふ地となしアゼモンの人々の地をハ羊の臥す  
 所ぞあすべし汝ら我のエホバなるを知にいたらん主エホバかく言たまふイスラエルの地の事を見て  
 手を拍ら足踏み傲慢を極めて心に喜べり是故に靦よ我わが手を汝に伸べ汝を國々に付して掠奪に遭  
 え汝汝を國民の中より絶ち諸國を滅すべし汝我のエホバあるを知るにいたらん主エホバかく言た  
 ん主エホバアゼモンの家ハ他の諸の國と同じぞ是故に我エホバの肩を擡へべし即ちこの邑々  
 うは貴處の邑にして國に莊嚴あるベラエモアパルメオアルおよびキリアサイよりこれを開き之を  
 アゼモンの人々お添て東方の人々に與へるの所有とあざしアゼモンの人々をして國々の中お記憶ら  
 ること無しめん我モアアゼモンの行ふべし我エホバあるを知にいたらん主エホバかく言たまふ  
 エホバの恨をくんでエホバの家お事をもし且これお怨を復して大お罪を得たり是故に主エホバかく  
 言たまふ我エホバの上におわが手を伸じて其中より人々を絶え去り之をアゼモンの地より荒地となすべし汝ら  
 の者ハ劍を仆れん我わが民イスラエルの手をもてエホバおわが仇を報いん彼らわが怒にたがひわ  
 償にたがひてエホバに行ふべしエホバ人すなごち我が仇を復すなるを知ん主エホバこれと言ふ主  
 エホバかく言たまふベリシテ人の怨を含みて事をなし心に傲りて仇を復し舊恨を懷きて滅ぼすことをな  
 せり是故に主エホバかく言たまふ我ベリシテ人の上に手を伸べケレテ人を絶ち海邊に遺れる者を  
 滅ぼすべし我怒の罰をもて大なる復仇を彼らに爲ん我仇を彼らに復す時に彼らハ我のエホバなるを知  
 べし  
 第二十六章  
 自五至二十六章二節  
 十一  
 年正月の首の日にエホバの言我にのぞみて言ふ人ば子よソロハエルサレムは事



につきて言ひ鳴呼心地よし諸の國民は門破る是我に移るからん我の豐滿かあるべし彼の荒はてたりと  
 是故主エホババかく言たまふツロよ我汝を攻め海れるの波濤を起すべく如く多国國人を汝に攻きたらん  
 べし彼らツロは石牆を築ちるの櫓を倒さん我乃其塵を拂ひ去りて是を乾ける磐と爲べし是は海は中  
 け網を張る處とからん我れこれを言ばなりと主エホババいひたまふ是は諸の國人を掠めらるべし是は野  
 をる女子等も殺されん彼らすなわち我れエホババなるを知べし主エホババかく言たまふ我王れ王  
 なるバベロツツレ王ギブカデヤザルをして馬車騎兵群衆および多くは民を率て北よりツロに攻きたら  
 んむべし野にをる汝の女子等をバベロ劍にかけて殺し又汝にむかひて雲梯を建て汝にむかひて壘を築き  
 汝にむかひて干を備へ破城繩を汝の石垣に向けるの斧をもて汝の櫓を打碎かんこの衆多の馬の煙塵  
 汝を覆はん彼等蔽れたる城に入るとどくに汝の門々に入來らん時々の騎兵と輜と車の聲のために汝の石  
 垣震動べし彼等の馬の蹄をもて汝の諸の櫓を踏わらし劍をもて汝の民を殺さん汝の榮光の柱地に仆る  
 べし彼ら汝は財寶を奪ひ汝の商貨を掠め汝の石垣を打崩し汝の樂器館を毀ち汝の石と木と土を水に沈  
 めん我汝の歌の聲を止めん汝の琴の音り復聞之ざるべし我汝を乾ける磐とささん汝の網を張る處と  
 なり再び建てとあかるべし我エホババこれを言ふと主エホババ言たまふ主エホババツロにかく言たまふ島々  
 汝の仆るし聲手負の呻吟および汝の中の殺戮によりて震動ざらんや海の君等皆々の座を下り朝服を  
 脱ぎ纏ある衣を去り恐懼を身に纏ひ地に坐し時となく怖れ汝の事を驚かん彼ら汝のために哀の詞を擧  
 て汝に言へし汝海より出たる住處各の高き邑自己もりの居民も共に海に墮て勢力ある者りの凡の居民  
 に已を恐れまむる者よ汝如何にして亡びたるやうれ島々凡汝の仆るし日に震ひ海の島々凡汝の亡るに

口 第廿五章三節二  
 二 第廿六章五  
 三 第廿六章五  
 四 第廿六章五  
 五 第廿六章五  
 六 第廿六章五  
 七 第廿六章五  
 八 第廿六章五  
 九 第廿六章五  
 十 第廿六章五  
 十一 第廿六章五  
 十二 第廿六章五  
 十三 第廿六章五  
 十四 第廿六章五  
 十五 第廿六章五  
 十六 第廿六章五  
 十七 第廿六章五  
 十八 第廿六章五  
 十九 第廿六章五  
 二十 第廿六章五  
 二十一 第廿六章五  
 二十二 第廿六章五  
 二十三 第廿六章五  
 二十四 第廿六章五  
 二十五 第廿六章五  
 二十六 第廿六章五  
 二十七 第廿六章五  
 二十八 第廿六章五  
 二十九 第廿六章五  
 三十 第廿六章五

驚くあり主エホババかく言たまふ我汝を荒たる邑となし人の住ざる邑々のごとく爲し洋海を湖あがら  
 ぬめて大水に汝を掩没せめん時汝を墓に往る者等の所昔時其の民の所に下し汝を去て下の國に住せめ古  
 昔よりの墟址に於て彼の墓に下れる者等とどもに居えめ汝の中に復人の住せんと天らまひべし而して我活  
 る人の地に樂を創造いださん我汝をもて人の戒懼とあすべし汝は復有とぞなし汝を奪るも終に汝を  
 看ざるべし主エホババこれと言ふなり  
 一 諸の國の商人となり多衆の島々に通ふ者主エホババかく言たまふツロよ汝言ふ我  
 の美り極れりと汝の國の海の中にわたり汝を建てる者汝の美を盡せり人セニルの機をもて櫓板を作り  
 パンツより櫓を取て汝のため櫓を作り  
 六 パンツの櫓をもて汝の機を作りキツムの島より至れる黃  
 楊に象牙を敷て汝の坐板を作れり汝の帆ハニツトより至れる文布にして旗に用らべし汝の天遮ハ  
 リシヤの島より至れる藍と紫の布なり汝の水手ハニツトとアラツテの人なりツロよ汝の中におる賢き  
 者汝の艦師となる  
 九 パルの老人等およびの賢き者汝の中にをりて汝の漏を繕ひ海の諸の船および  
 の舟子汝の中にありて汝の貨物を交易す  
 十 ペルミアルツテの軍にありて汝の戰士となる彼等  
 汝の中に干と兜を懸け汝を光輝せしめ  
 十一 アラツテの人々および汝の軍勢汝の四周の石垣の上にあり勇士  
 等汝の櫓にあり彼等汝の四周の石垣にの櫓をかけ汝の美を盡せり  
 十二 この諸の貨物に富むるために  
 ミツ汝と高をさし銀鐵鋤および鋸をもて汝と交易を爲り  
 十三 ヤソトパルおよびメセハの汝の商賈にし  
 て人の身と銅の器をもて汝と貿易を行ふ  
 十四 トガルツの族馬と騎馬および驛をもて汝と交易し  
 十五 ツアツ

一 第廿七章九節  
 二 第廿七章九節  
 三 第廿七章九節  
 四 第廿七章九節  
 五 第廿七章九節  
 六 第廿七章九節  
 七 第廿七章九節  
 八 第廿七章九節  
 九 第廿七章九節  
 十 第廿七章九節  
 十一 第廿七章九節  
 十二 第廿七章九節  
 十三 第廿七章九節  
 十四 第廿七章九節  
 十五 第廿七章九節  
 十六 第廿七章九節  
 十七 第廿七章九節  
 十八 第廿七章九節  
 十九 第廿七章九節  
 二十 第廿七章九節  
 二十一 第廿七章九節  
 二十二 第廿七章九節  
 二十三 第廿七章九節  
 二十四 第廿七章九節  
 二十五 第廿七章九節  
 二十六 第廿七章九節  
 二十七 第廿七章九節  
 二十八 第廿七章九節  
 二十九 第廿七章九節  
 三十 第廿七章九節



の人々汝と商をなせり乗の島々汝の手にありて交易し象牙と黒檀をもて汝と貿易せり 汝の製造品の多  
 ぶためふナリア汝と商をなし赤玉、紫貨、織貨、細布、珊瑚、瑪瑙をもて汝と交易す エダとイクラ  
 エルの地汝に商をなしニツアの麥と菓子と蜜と油と乳香をもて汝と交易す 汝の製造物の多分ため諸  
 の貨物の多分ためハツマコ、ハツボンの酒と曝毛をもて汝と交易せり ウザルのペザンとヤツン熟  
 鐵をもて汝と交易す肉桂と青漆汝の市にあり デザン車の毛氈を汝に商人入り アラヒヤとダダラの君等  
 とハ汝の手に在て商をなす美羊と粗羊と牡山羊をもて汝と交易す シバとアラハの商人汝と商をなす諸  
 の貴き香料と諸の寶石と金をもて汝と交易せり ハランとカンチとエマンドとレバの商賈とアムリヤと  
 キルマヤと汝と商をなす 華美なる物と紫色なる繡の衣服と槍の箱を盛て纏て紐にて結たる者をもて汝  
 の市にあり 大理石の船汝のために往來して商賈を爲す汝ハ海の中にありて豊滿にして衆あり 水手  
 汝を擲て大水の中にいたるに海の中に東風汝を打破る 汝の財寶汝の商貨物汝の交易の物汝の舟子汝  
 の舵師汝の漏る者汝の貨物を商人者汝の中にあるところの凡の軍人並に汝の中の乗者皆汝の壊る  
 る日に海の中に陥るべし 汝の舵師等の叫號の聲にるの處々塵ふ 凡て楫を執る者舟子および凡て海の  
 舵師等の船より下りて陸に立ち 汝のために聲を擧て痛く哭き塵を首か蒙り灰の中に轉轉ひ 汝のため  
 に髪を剃り麻布を纏ひ汝のために心を痛めて泣き甚く哭くべし 彼等悲みて汝のために哀の詞を宣へ 汝  
 を吊ひて言ふ孰かツロの如くある海の中に滅たる者の如くなるぞ 汝の商貨の海より出し時ハ汝衆多の  
 國民を壓せめ汝の衆多の財寶と貨物をもて世の王等を富めたりしは 汝海に壊れて深き水にわらん 諸  
 ハ汝の貨物汝の商人皆陷らん 島々に住る者皆汝に駭かんろの君等大に恐てその面を蔽すべし 國

目十一節三  
 五十五節九十一節  
 一節二節三節  
 四節五節六節七節  
 八節九節十節十一節十二節十三節十四節十五節十六節十七節十八節十九節二十節二十一節二十二節二十三節二十四節二十五節二十六節二十七節二十八節二十九節三十節三十一節三十二節三十三節三十四節三十五節三十六節三十七節三十八節三十九節四十節四十一節四十二節四十三節四十四節四十五節四十六節四十七節四十八節四十九節五十節五十一節五十二節五十三節五十四節五十五節五十六節五十七節五十八節五十九節六十節六十一節六十二節六十三節六十四節六十五節六十六節六十七節六十八節六十九節七十節七十一節七十二節七十三節七十四節七十五節七十六節七十七節七十八節七十九節八十節八十一節八十二節八十三節八十四節八十五節八十六節八十七節八十八節八十九節九十節九十一節九十二節九十三節九十四節九十五節九十六節九十七節九十八節九十九節一百節

目十一節三  
 五十五節九十一節  
 一節二節三節  
 四節五節六節七節  
 八節九節十節十一節十二節十三節十四節十五節十六節十七節十八節十九節二十節二十一節二十二節二十三節二十四節二十五節二十六節二十七節二十八節二十九節三十節三十一節三十二節三十三節三十四節三十五節三十六節三十七節三十八節三十九節四十節四十一節四十二節四十三節四十四節四十五節四十六節四十七節四十八節四十九節五十節五十一節五十二節五十三節五十四節五十五節五十六節五十七節五十八節五十九節六十節六十一節六十二節六十三節六十四節六十五節六十六節六十七節六十八節六十九節七十節七十一節七十二節七十三節七十四節七十五節七十六節七十七節七十八節七十九節八十節八十一節八十二節八十三節八十四節八十五節八十六節八十七節八十八節八十九節九十節九十一節九十二節九十三節九十四節九十五節九十六節九十七節九十八節九十九節一百節

國の商賈汝のために嘶かん汝ハ人の戒懼ぞあり限りなく失果  
 エホバの言われに臨みて言ふ 人の子ツロの君に言ふべしエホバはかく言たまふ汝  
 心に高ぶらて言ふ我ハ神なり神の座に坐りて海の中にありて汝ハ人にして神にして神の心ので  
 どき心を懐くあり 夫汝ハエニルよりも賢かり隠れたる事として汝に明ならざるハ無し 汝の智慧と  
 明哲によりて汝富を獲銀を汝の庫に收め 汝の大なる智慧と汝の貿易をもて汝の富を増しその富有  
 のために心に高ぶれり 是故に主エホバはかく言ふ汝神の心のでどき心を懐くに因り 汝と我異國人を汝  
 に攻きたらまめん是國々の暴き人々なり彼ら劍を抜て汝が智慧をもて得たるどころの美しき者に向ひ 汝  
 の美を汚し 汝を穴に投ひれん汝ハ海の中に殺さるゝ者のごとき死を遂べし 汝ハ人にして神にあら  
 す 汝を殺す者の手にあるも尙ろの己を殺す者の前に我ハ神なりと言ふとすや 汝ハ割禮をうけざる者  
 の死を異國人の手に遂べし我これ言はんなりと主エホバは言たまふ エホバの言我にのぞみて言ふ 人の  
 子ツロの王のために哀の詞を述べてこれに言べし主エホバはかく言たまふ汝ハ全く墜へたる者の印、智慧  
 の汚し美の極れる者あり 汝神の園エマツに在き諸の寶石、赤玉、黃玉、金剛石、黃綠玉、碧玉、青  
 玉、紅玉、瑪瑙および金汝を覆へり 汝の立ちらるゝ日に手跡と雷汝のために備らるゝ 汝ハ膏りくがれしク  
 ルピアにして掩ふことを爲り我汝を擧なせしなり 汝神の聖山に在り又火の石の間に歩めり 汝ハうの立  
 られし日より終に汝の中に惡の見ゆるにいたるまでハ其行全かりき 汝の交易の多分ため汝の中に  
 ハ暴逆滿ちて汝罪を犯せり是故に我ハ心とを爲とこのケルピアと我神の山より汝を汚し出火の石の  
 間より汝を滅し去べし 汝の美麗のために心に高ぶり其榮耀のために汝の智慧を汚したれば我汝を地

目十一節三  
 五十五節九十一節  
 一節二節三節  
 四節五節六節七節  
 八節九節十節十一節十二節十三節十四節十五節十六節十七節十八節十九節二十節二十一節二十二節二十三節二十四節二十五節二十六節二十七節二十八節二十九節三十節三十一節三十二節三十三節三十四節三十五節三十六節三十七節三十八節三十九節四十節四十一節四十二節四十三節四十四節四十五節四十六節四十七節四十八節四十九節五十節五十一節五十二節五十三節五十四節五十五節五十六節五十七節五十八節五十九節六十節六十一節六十二節六十三節六十四節六十五節六十六節六十七節六十八節六十九節七十節七十一節七十二節七十三節七十四節七十五節七十六節七十七節七十八節七十九節八十節八十一節八十二節八十三節八十四節八十五節八十六節八十七節八十八節八十九節九十節九十一節九十二節九十三節九十四節九十五節九十六節九十七節九十八節九十九節一百節